

# 多様な部下がいるチームの運営方法

## ～部下のモチベーションを上げてチームを活性化！～

少子高齢化がますます進み、労働人口が急激に減少している日本。すでに始まっている人材不足は、中小企業を中心に、今後さらに深刻化していくことでしょう。

そんな中、人口の半分を占める女性を戦力として活かさない手はありません。出産後も働き続ける女性は増加しており、時間制約があっても、モチベーション高く十分に能力を発揮しながら働き続けてもらうためには、その上司が適切なマネジメント方法を知らなければなりません。

また、女性社員だけでなく周りの社員が不満をためないコツなど、部下のモチベーションを上げてチームを活性化し業績をアップさせるためのマネジメント方法も伝授いたします。具体的ですぐに実践できると大変ご好評をいただいているセミナーですので、是非ご参加ください。

### 開催日時

平成30年

6月1日(金)

14:30～16:30(受付14:15～)

### 場所

ちよだプラットフォームスクウェア 会議室504  
東京都千代田区神田錦町3-21 TEL.03-3233-1511  
(東西線竹橋駅 3b KKRホテル東京玄関前出口より徒歩2分)

### 対象

中小企業の経営者・管理職・人事

### 定員

20名(先着順)

### 【主催】

(株)エムズカンパニー 担当:西川  
nishikawa@misco.co.jp  
東京都千代田区九段北1-3-11 九段久保山ビル3F  
TEL.03-3515-8415/FAX.03-3239-3170

### 内容

\*プログラム抜粋

- 女性の働き方の変化
- 職場の課題
  - ・育児休業と時短利用者の増加に伴う職場の課題
  - ・職場復帰面談での確認事項
  - ・過剰な配慮の背景、影響、事例
- 管理職に求められること
  - ・時短社員の上司である管理職に求められる3つのポイント
  - ・適切な配慮とは
  - ・マタニティハラスメントとは
  - ・周囲の社員の不満をためないコツ
  - ・管理職【イクボス】心得～3つの「き」
- グループディスカッション
  - ・ケーススタディによる職場の問題解決ディスカッション

### 講師

山口 理栄(やまぐちりえ)



1984年総合電機メーカーに入社ソフトウェアの開発、設計、製品企画などに24年間従事。2度育休を取り部長職まで務める。2006年から2年間社内の女性活躍推進プロジェクトのリーダーに就任。2010年6月育休後コンサルタント\*として独立し、法人向けに女性活躍推進コンサルティング、管理職向けセミナー、育休取得社員向けセミナーを年間200回以上提供。個人向けに育休後カフェ\*を年20回程度開催。著書:「改訂版 さあ、育休後からはじめよう～働くママへの応援歌～」 「子育て社員を活かすコミュニケーション【イクボスへのヒント集】」

### 過去のセミナー参加者の声

- 育休取得者が復帰する際の対応の仕方が明確になった。
- 今後共働きがますます増えると思われるので、子育てする社員も活かすことが企業にとってとても重要になっていくと思った。
- ケーススタディをやることにより、講義の内容がより深く理解できた。またグループディスカッションで新たな考えに触れ、自分の考えが深まった。
- 時短社員に過剰な配慮をして能力以下の仕事をさせるとモチベーションが下がるという話に納得したが、良かれと思いやっている管理職は多いと思う。

参加ご希望の方は、下記に必要事項をご記入いただき、FAX・メール・TELのいずれかでお申込みください。

FAXの場合は、この用紙をそのままFAXください。

**FAX番号:03-3239-3170**

ご出欠の決定前に詳しいプログラムが知りたいという方や、ご参加はしないが興味はあるという方には、個別に内容についてのご案内も可能です。その旨をお書きし、FAX・メール・TELのいずれかでご連絡ください。

お名前				役職	
会社名				参加人数	
会社所在地	〒				
	TEL ( )	—	/ FAX ( )	—	
	E-mail	@			